

第8回検討委員会（9月開催）提出の委員からの質問に対する回答

こども政策課

質問1-①

第7回資料（8月開催分）「資料3」について

第7回委員会（8月開催）で配付された資料3「7こども園での運営費一般財源投入見込み額」から委員が試算すると『こども園子ども一人当たり投入する市税79万円』となるが、第5回委員会（6月開催）で配付された資料14から試算すると「73万円」となる。経費削減により保育の質に悪影響が出るのではないか。

回答

数値の違いは、東習志野こども園1園の決定数値をもとに算出した数値（73万円）と将来7園にかかる見込み数値から算出した数値（79万円）との違いによるものです。将来のこども園子ども一人当たり運営費を算出するには、7こども園在籍児をどう見込むか、あるいは経費をどう見込むかにより変動する数値です。お示しした7つのこども園にかかる運営経費は概算であり、子ども人数から積算したものではありません。なお、保育の質とは「保育者の姿勢」「保育の方法」「保育を行うために人間関係」「保育の環境」と整理される場合があります。運営経費には施設管理費などが含まれ、「保育者の姿勢」などの経費については含まれていません。したがって経費増減が直ちに保育の質に影響するものとは考えておりません。

質問1-②

第7回資料（8月開催分）「資料3」について

資料3の説明の中で、将来民間保育所への運営費の助成額総額は、5億円程度と説明を受けたが、それから推計すると私立保育園が8園と思われる。さらには全園で800人定員と推察され、その場合、将来のこども園と合わせると約1400人定員と思われる。現在約1500人定員いるわけだから定員は減少する。この再編素案は待機児童対策とはならないのではないか。

回答

保育所の私立化につきましては、今回の再編素案の期間における「若松保育所」「袖ヶ浦第二保育所」の2園の予定となっており、その間では杉の子こども園の整備により保育所枠が76人拡大し、若松保育所の建て替えにより40人拡大を見込んでおり、現行の定員より116人の入所枠拡大ができるものと考えております。現段階では平成27年度以降の私立化の具体的な計画はまだ考えていない中で、こども園の長時間児枠と合わせて現行の保育所定員枠は拡大する必要があると考えており、そのくらいの前提で運営費は5億円とさせていただきました。

質問 1－③

第 7 回資料（8 月開催分）「資料 3」について

在宅の子育て支援は「一時保育」「こどもセンター」「つどいの広場」などの運営施策を考えられているようだが、「一時保育を利用しない市民」「こどもセンターやつどいの広場に来ない市民」など孤立した母子への支援が必要ではないか。

回答

孤立した子育て家庭への支援は大きな課題です。その解決のためには、施設で親子同士の交流や地域の方、行政の相談員等とのかかわりの中で、育児不安を解消していただくことが必要です。家庭で悩んでいる方などに対しては、地域社会での子育て支援の輪や行政のアンテナを活用して支援につなげることが必要です。市では交流の場の提供のほか、家事支援、育児支援家庭訪問などきめ細かな訪問事業や一時保育などの手立てで、2ヶ月児までの全戸訪問や4ヶ月児等健康相談などを活用し家庭で孤立した母子への支援を現在展開しています。今後、ショートステイ、家庭的保育、休日保育などの実施も在宅子育て支援における重要な検討課題であると考えております。

質問 2－①

第 6 回資料（7 月開催分） 資料 3 について

臨時採用職員に頼った現状の保育の中で、杉の子こども園を正規職員で運営する案は非現実的ではないか。

回答

臨時採用職員に頼った現状の保育は好ましいものではないと認識しています。したがって、正規職員のみによる運営、つまり市の現在の財政体力に合った保育を目指すためにはどのようにすればいいのか当然に考えなければいけないと思います。この再編素案では、必要となる正規職員は私立化などと並行した再編の中で生み出して行きたいと考えています。

質問 2－②

第 6 回資料（7 月開催分） 資料 3 「杉の子こども園職員数」について。第 3 回資料（4 月開催分） 付属資料 4

臨時採用職員に頼った現状の保育の中で、杉の子こども園を正規職員で運営する案は非現実的であり、かつコストを押し上げることにつながらないか。

回答

上記の回答に同じ。

質問3-①

第6回資料（7月開催分） 資料1「杉の子こども園配置図」について。
駐車場台数が少ないのでは。

回答

杉の子こども園の設計・積算は、今後、在園児や地域の方々を含めた検討を踏まえ、基本構想や基本設計を行ってまいります。ご指摘の件はその段階で検討課題に上るものと考えております。

質問3-②

第6回資料（7月開催分） 資料1「杉の子こども園配置図」について。
周辺道路の拡幅の必要性があると考えますが、その場合、園敷地が狭くなり定員が確保できないのでは。

回答

上記回答に同じ。

質問3-③

第6回資料（7月開催分） 資料1「杉の子こども園配置図」について。
グラウンドが狭いのでは

回答

現在の杉の子幼稚園での園庭面積は確保する予定です。杉の子幼稚園は210人定員の時期もあったことから、乳児を含めた166人定員のこども園での園庭面積は十分に確保できるものと考えています。